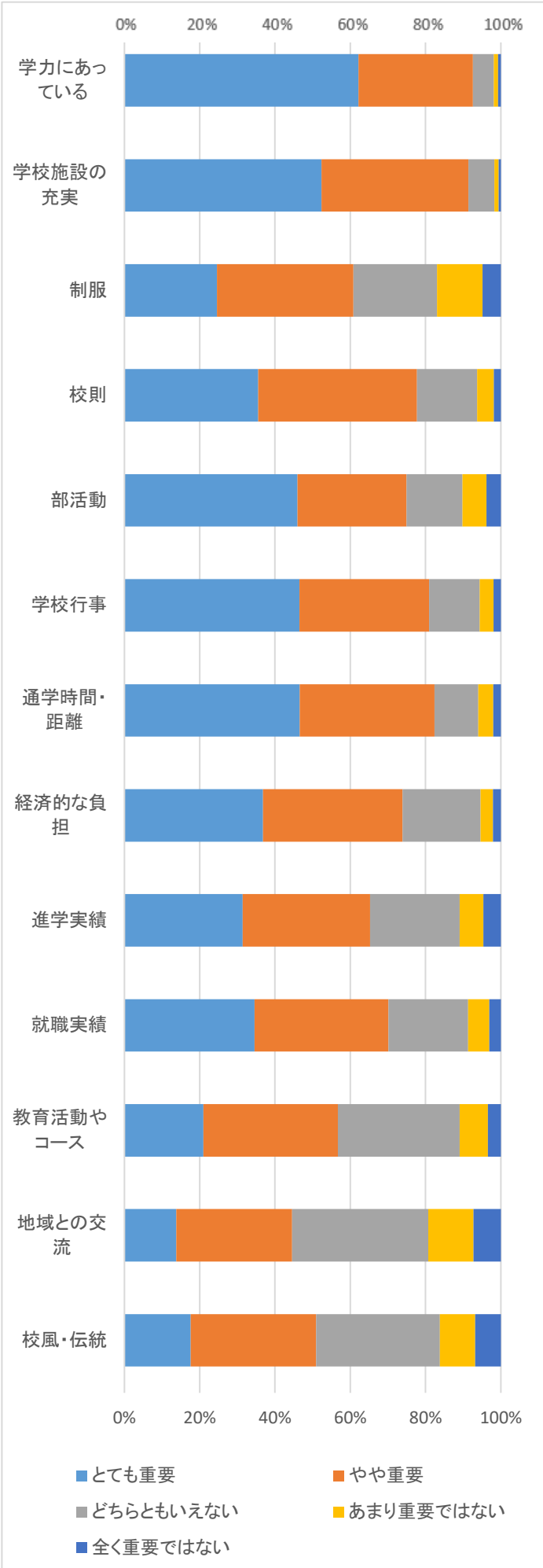


問 高校を選ぶにあたり、何を重要視しますか？
次の13項目に関して、それぞれ5段階で評価してください。

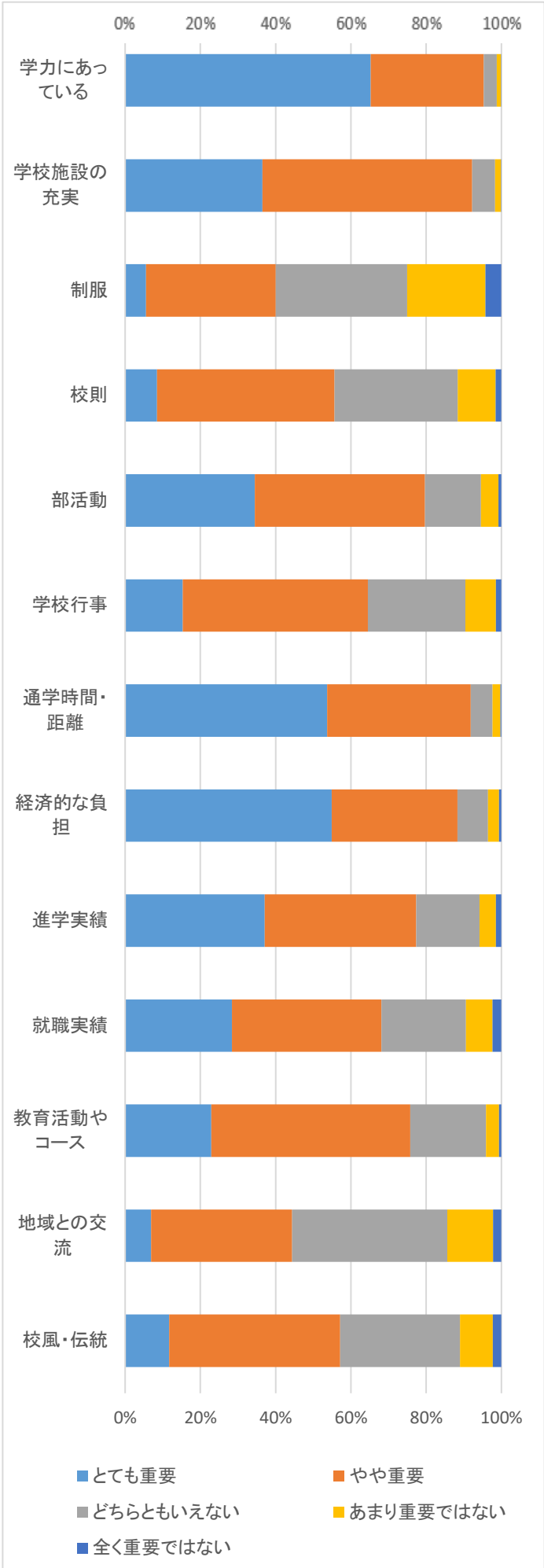
(1) 中学生

有効回答数(10970)



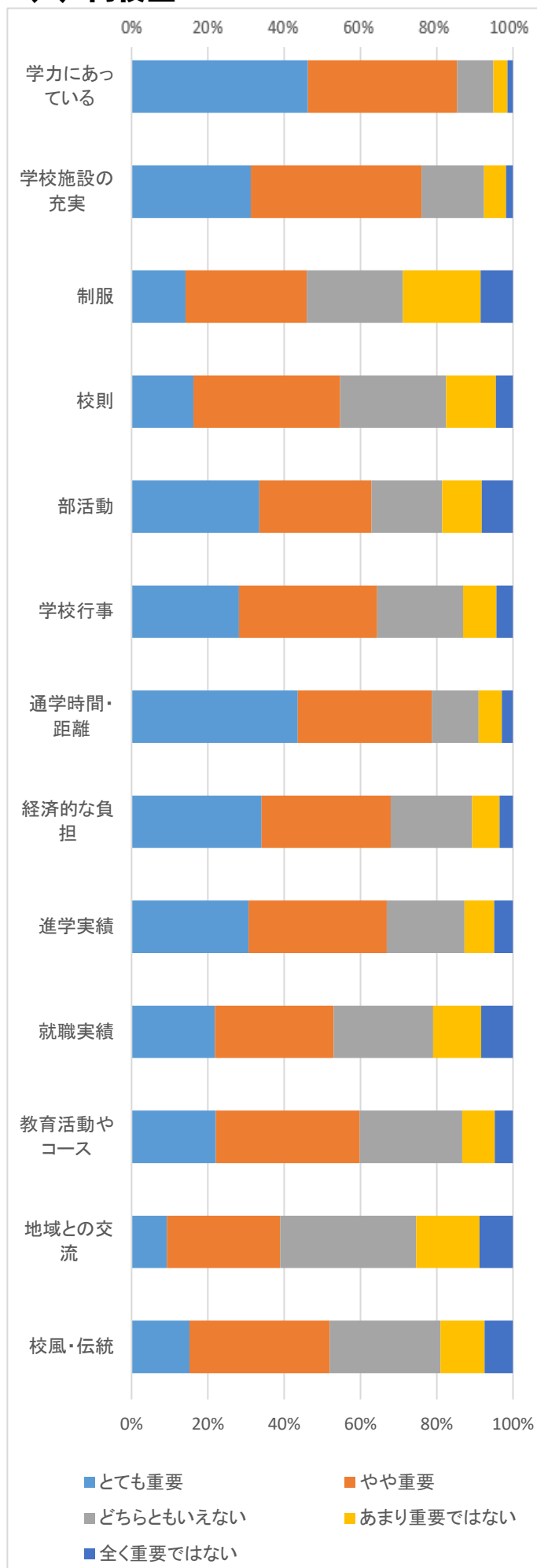
(2) 中学保護者

有効回答数(4806)



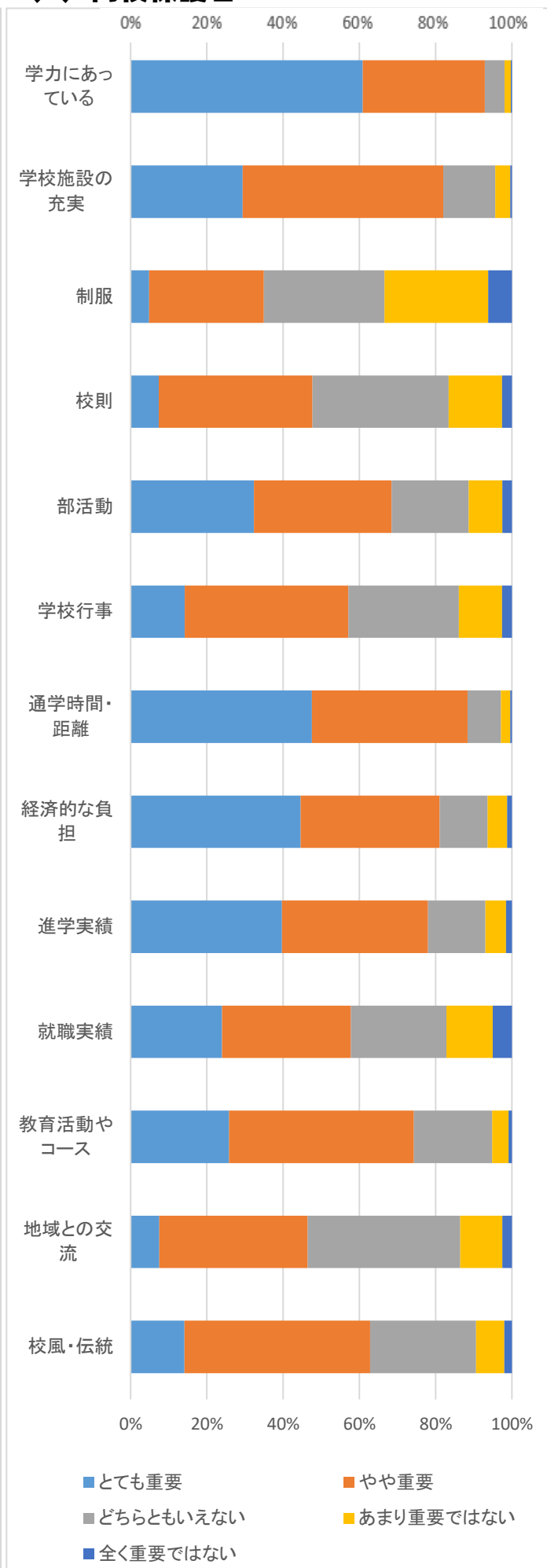
(3) 高校生

有効回答数(4884)



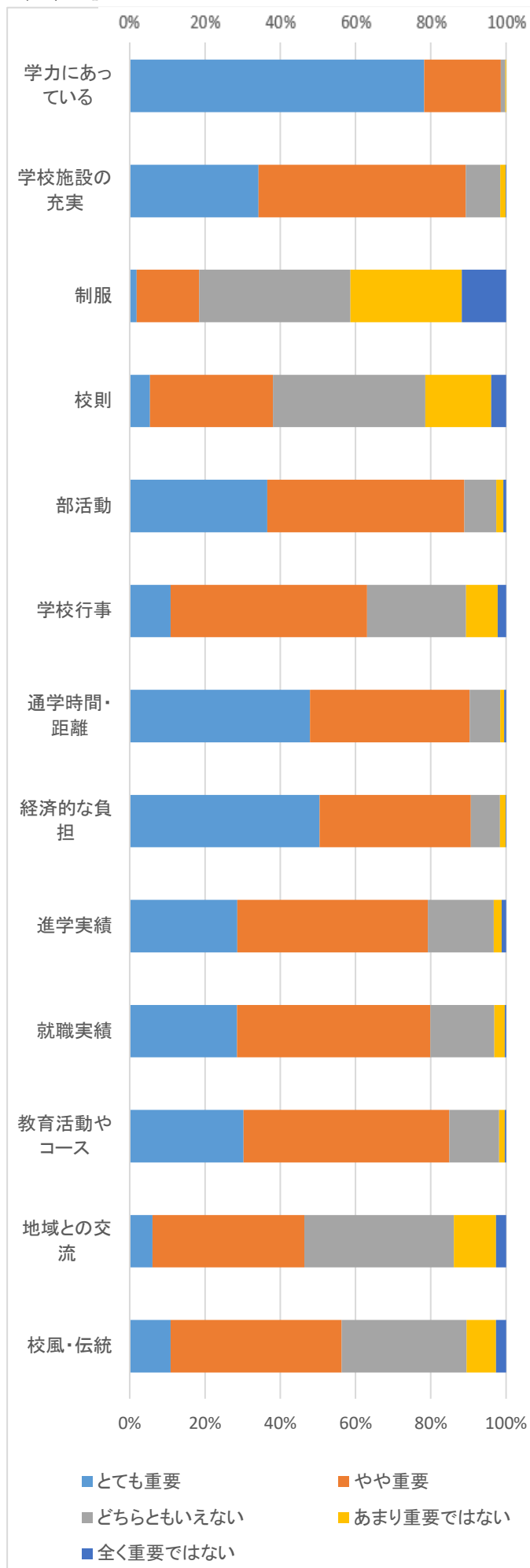
(4) 高校保護者

有効回答数(2179)



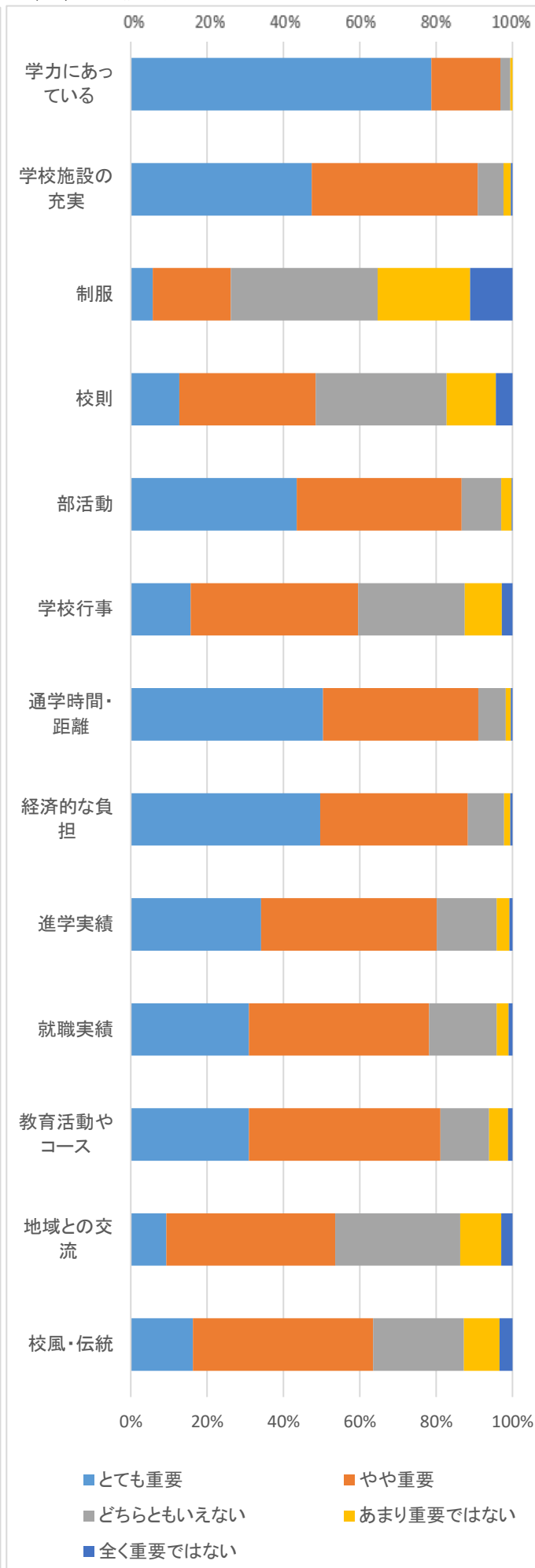
(5) 中学教諭

有効回答数(856)



(6) 高校教諭

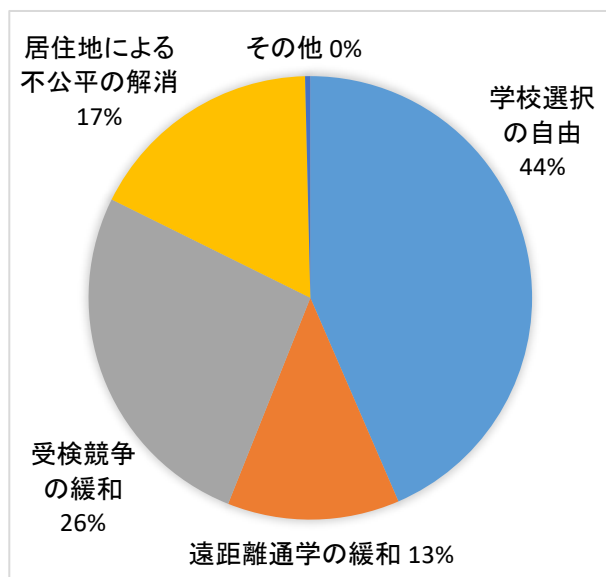
有効回答数(504)



- 問 通学区域制の見直しについて、どのようなことを実現することが望ましいと思いますか？
2つまたは1つ選んでください。
1. 行きたい学校を自由に選べること
 2. 遠距離通学をしなくてもよいこと
 3. 受検競争が激しくならないこと
 4. 居住地によって合格最低点が異なるなどの不公平が生じないこと
 5. その他

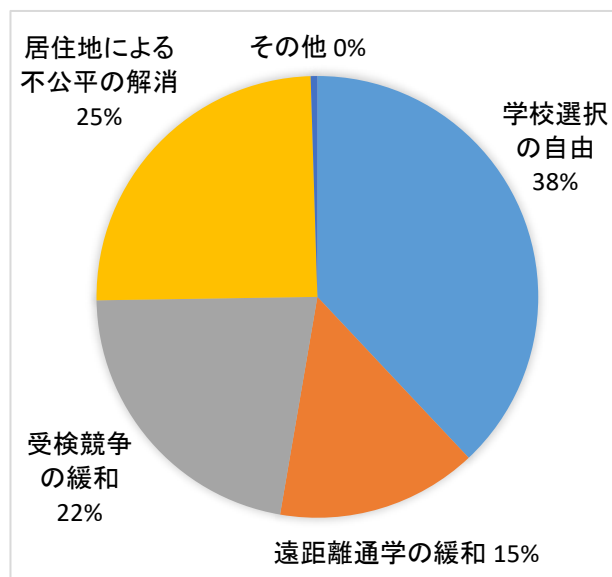
(1) 中学生

有効回答数(17601)



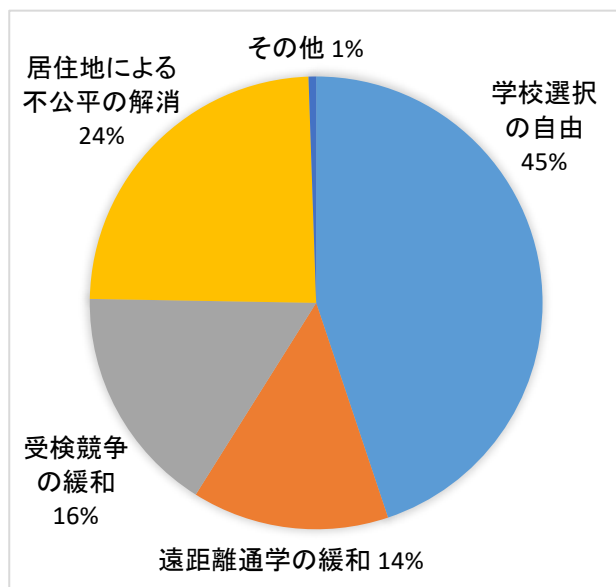
(2) 中学保護者

有効回答数(7577)



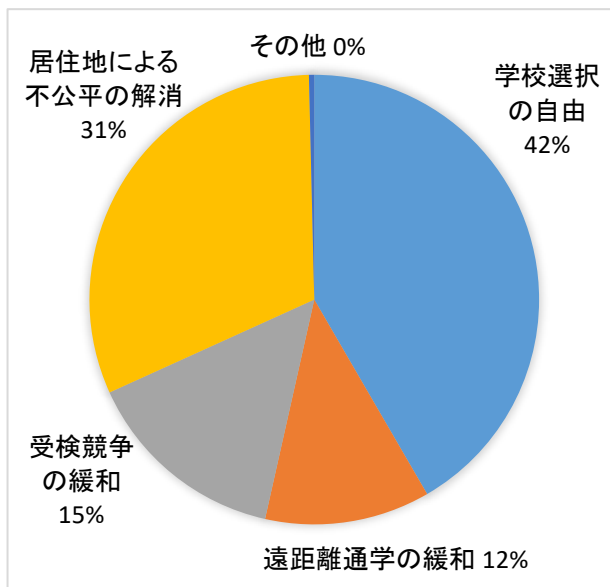
(3) 高校生

有効回答数(8392)



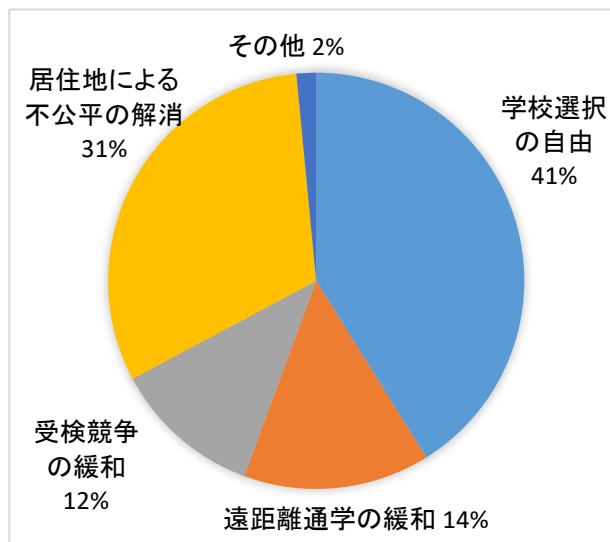
(4) 高校保護者

有効回答数(3685)



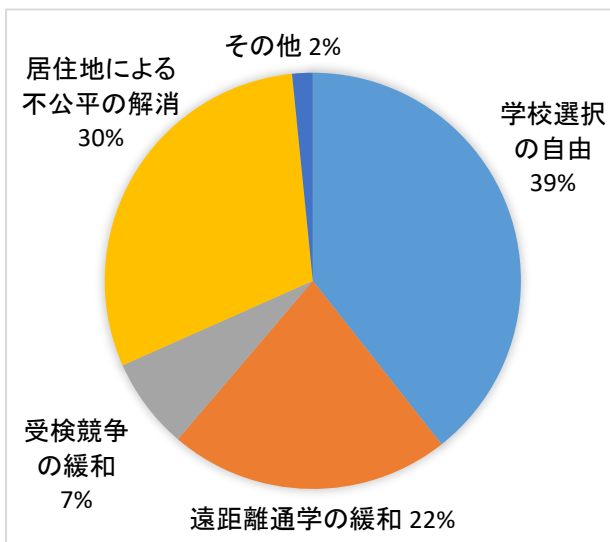
(5) 中学教諭

有効回答数(1442)



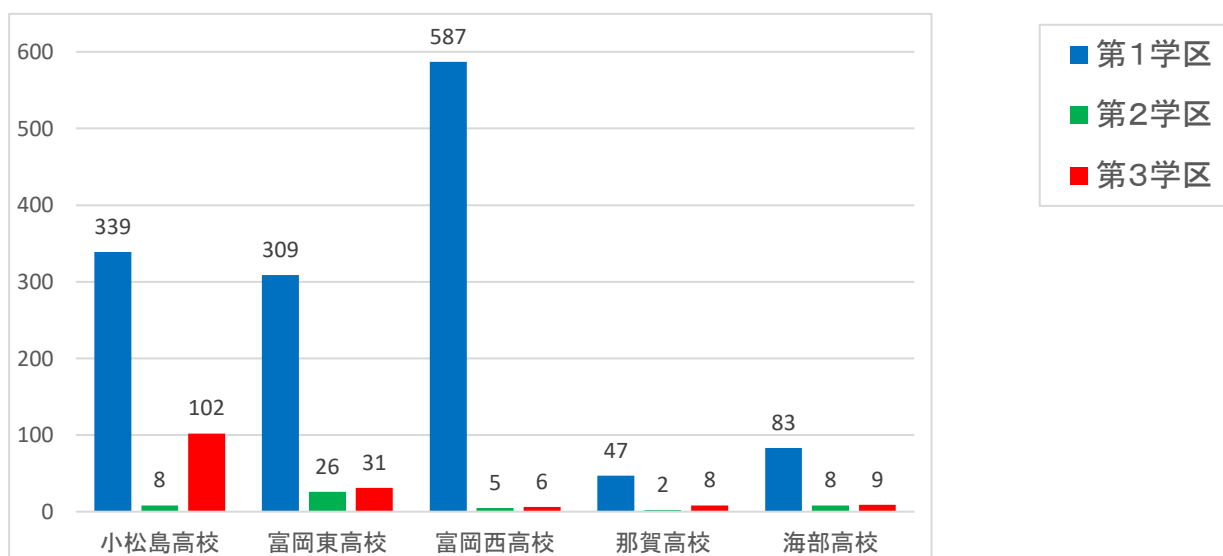
(6) 高校教諭

有効回答数(815)

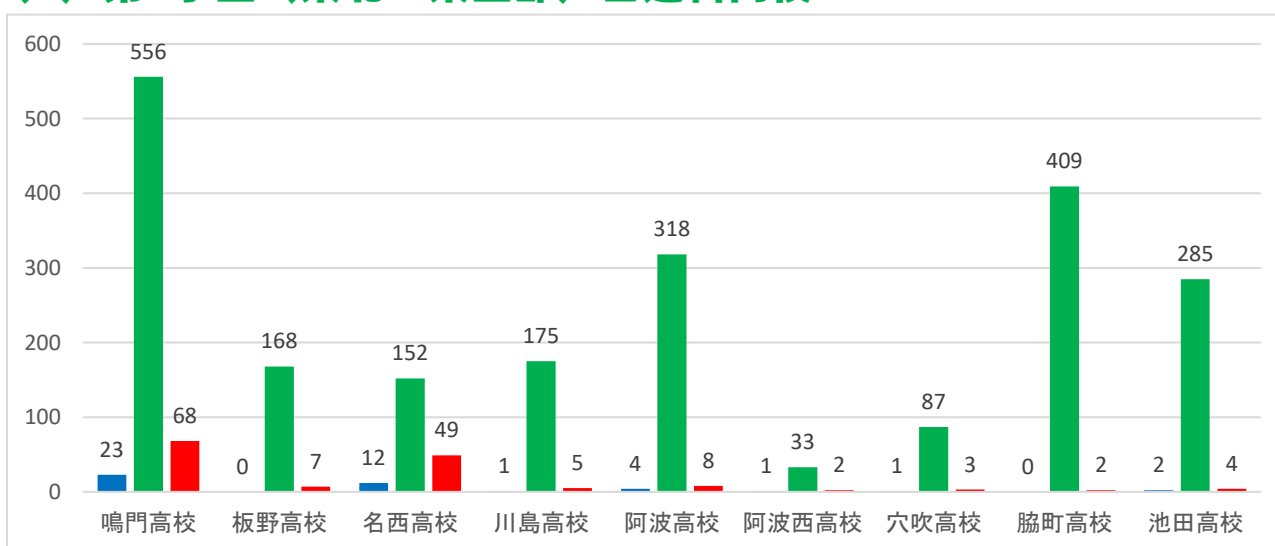


問 中学生に質問です。現時点で進学を希望している普通科（全日制）の学校があれば、該当するものを2つまたは1つ選んでください。なお、進学を希望していない場合や分からない場合は、その選択肢を選んでください。

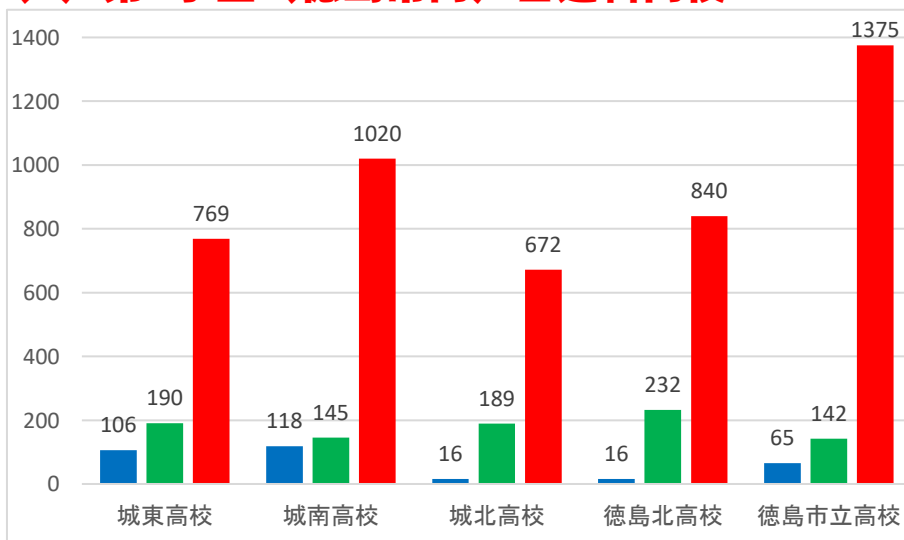
(1) 第1学区（県南部）普通科高校



(2) 第2学区（県北～県西部）普通科高校



(3) 第3学区（徳島市内）普通科高校



※重複区域は第3学区として集計

(参考)進路未定・不明の回答状況

1年生	37.8%
2年生	28.5%
3年生	8.9%

問 最後に、通学区域制の見直しについてご意見等がありましたら、記入してください。

※「問 通学区域制についてどう思いますか」に対する回答により分類

(1) 中学生

有効回答数(551)

- 「ただちに变えてほしい」または「段階的に変更してほしい」を選択された方
 - ・学区制は居住地によって受検機会が制限され不公平である
 - ・学区制によって行きたい高校を選べず、将来の選択肢が狭まっている
 - ・学区外からの受検生は、学区内であれば合格できる点数でも不合格になるなど、不平等感が強い
 - ・急な変更は混乱を招くため、段階的に見直すべき
- 「現状のままで特に問題ない」を選択された方
 - ・学区制がなくなると受検競争が激化し、学力上位校に集中する可能性がある
 - ・学区制がなくなると遠距離通学が必要になる可能性がある
 - ・学区制がなくなると地方の高校に人が集まらなくなり、廃校になる可能性がある
 - ・学区制によって近くの高校に通いやすくなり、通学の負担が軽減される

(2) 中学保護者

有効回答数(1057)

- 「ただちに变えてほしい」または「段階的に変更してほしい」を選択された方
 - ・住む地域によって合格点数が異なる現状に強い不公平感を抱いている
 - ・学区制は、子どもの将来の可能性を狭めるものである
 - ・学区制を廃止することで、生徒の選択肢が広がり、学力向上につながる
 - ・いきなり学区制を完全に廃止するのではなく、段階的に廃止していくべき
 - ・交通機関の整備や寮の設置、私立高校の拡充などが課題
- 「現状のままで特に問題ない」を選択された方
 - ・学区制を廃止すると、遠距離通学が必要となる生徒が増え、経済的負担が大きくなる
 - ・遠距離通学による通学時間の増加が、学習時間や睡眠時間の減少、疲労の蓄積など、生徒の生活全体に悪影響を及ぼす
 - ・学区制を廃止すると、徳島市内の高校に志願者が集中し、市外の高校のレベル低下や定員割れ、ひいては地域衰退につながる
 - ・私立高校が少ない徳島県では、不合格になった場合の選択肢が少ない

(3) 高校生

有効回答数(405)

- 「ただちに变えてほしい」または「段階的に変更してほしい」を選択された方
 - ・居住地によって受検できる高校が制限され、学区外からの受検生は合格するためにより高い点数を求められるなど、不公平感が強い
 - ・学区制によって高校の選択肢が狭められ、生徒の将来の可能性を制限している
 - ・学区制を撤廃することで、生徒間の競争が促進され、県全体の学力向上につながる
 - ・学区制廃止には交通網の整備が必要
 - ・学区制を撤廃するにしても、急な変更ではなく、段階的に進めるべき
- 「現状のままで特に問題ない」を選択された方
 - ・学区制を撤廃すると、徳島県の交通機関の現状では、遠距離通学の生徒が増え、通学時間や費用、体力面、精神面での負担が大きくなる
 - ・徳島市内の高校に生徒が集中し、他の地域の高校のレベルが低下したり、生徒数が減少し廃校につながったりする可能性がある
 - ・現状の制度で特に問題を感じていない、あるいはメリットを感じている

(4) 高校保護者

有効回答数(404)

- 「ただちに变えてほしい」または「段階的に変更してほしい」を選択された方
 - ・学区制は、子どもの進路選択の自由を制限しており、不公平である
 - ・徳島市外から市内に進学するには高い学力が必要とされる現状に不満がある
 - ・子どもたちが自分の学力に合った高校を自由に選択できるようになり、県全体の学力向上につながる
 - ・交通手段の不足や経済的負担の増加に懸念を抱いている
 - ・地方の高校の衰退や高校間格差の拡大などの問題が生じる可能性がある
 - ・見直しには賛成だが、拙速な改革による混乱や新たな問題の発生を懸念している
- 「現状のままで特に問題ない」を選択された方
 - ・学区制を撤廃することで、遠距離通学による経済的・時間的負担の増加や、地域格差の拡大、交通渋滞の悪化などの懸念がある
 - ・学区制が撤廃されると徳島市外の生徒が流入し、徳島市内の高校の競争が激化する
 - ・学区制は、地域ごとの高校の特色を維持することや自宅から近い高校への通学、地域社会の活性化に貢献している

(5) 中学教諭

有効回答数(241)

- 「ただちに变えてほしい」または「段階的に変更してほしい」を選択された方
 - ・居住地によって合格最低点が異なり、学区外の生徒が、学力が高くても希望する高校に進学できない現状は、教育の機会均等の観点から不公平である
 - ・学区制の廃止とともに、高校の特色化・魅力化や入試制度の見直しなどの対策が必要
 - ・生徒一人ひとりの進路実現の可能性が広がり、学習意欲の向上につながる
 - ・急な変更は混乱を招き、不利益をもたらす可能性があることから、学区制の廃止は段階的に行うべき
 - ・学区制を廃止するにしても、まず各高校の特色化・魅力化を進めることが重要
 - ・交通網の整備や入試制度の見直しが必要
 - ・私立高校の充実が重要
- 「現状のままで特に問題ない」を選択された方
 - ・学区制を廃止すると、徳島市内への集中により受検競争が激化し、生徒の精神的負担が増加するとともに、市外の高校の定員割れや廃校、ひいては地域衰退につながる
 - ・交通インフラが十分に整備されていない現状では、遠距離通学の増加が生徒の負担を増大させ、教育の質の低下につながる
 - ・徳島県は私立高校が少ないため、公立高校の不合格者の受け皿が不足する
 - ・学区制によって地域に根差した学校育成が可能となり、地域への愛着を育むことができる

(6) 高校教諭

有効回答数(124)

- 「ただちに变えてほしい」または「段階的に変更してほしい」を選択された方
 - ・居住地によって受検できる高校が制限されることは不公平であり、改善すべき
 - ・生徒が自分の進路希望や学力に合った高校を自由に選択できるようにすることで、モチベーションや学習意欲が向上する
 - ・学区制の廃止が県全体の学力向上につながる
 - ・学区制の見直しと合わせて、高校の特色化や魅力向上に取り組むべき
 - ・交通網の整備が必要
 - ・私立高校の選択肢が少ないという現状を考慮すべき
- 「現状のままで特に問題ない」を選択された方
 - ・学区制を撤廃することで、徳島市内の高校に生徒が集中し、周辺地域の高校が衰退してしまう可能性がある
 - ・地元の高校が衰退することは、地域の活性化を阻害するだけでなく、地域社会の崩壊にもつながりかねない
 - ・通学時間の増加が、生徒の学習時間や部活動への参加時間を圧迫するだけでなく、経済的な負担も増加させる可能性がある